

リコール届出書

平成30年11月13日

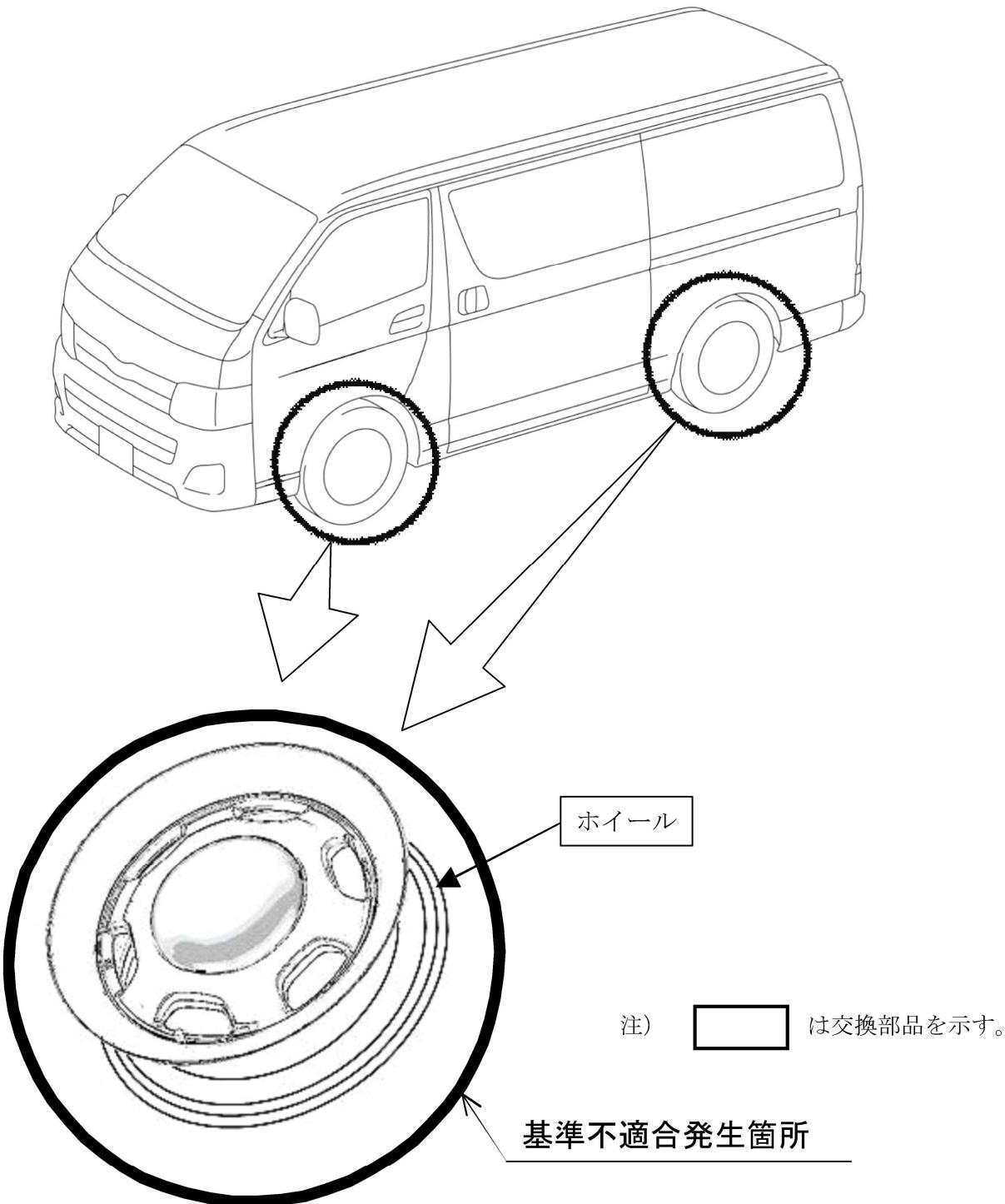
国土交通大臣 殿

届出者の氏名 株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
又は名称 代表取締役社長 稲垣 和也 印
住 所 神奈川県横浜市港北区師岡町800番地

リコール届出番号	4359	リコール開始日	平成30年11月14日
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	架装部品として装着したアルミホイールにおいて、ホイールセンター部の設計寸法が不適切なため、使用を続けるとホイールナットが緩むことがある。そのため、異音が発生し、最悪の場合、車輪が脱落するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ホイールを対策品に交換する。 但し、部品の入手に時間がかかることから、暫定措置として一度ホイールナットの再締付を行う。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：電話やダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関紙に掲載する。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.4359のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
トヨタ	QDF-GDH201V	「ハイエース」	GDH201-1001056～GDH201-1014033 平成29年12月8日～平成30年9月25日	66	
	QDF-GDH206V		GDH206-1001150～GDH206-1012988 平成29年12月11日～平成30年9月25日	81	
	CBF-TRH200V		TRH200-0127396～TRH200-0287420 平成22年9月1日～平成30年8月31日	67	
				合 計	(214台)

改善箇所説明図



〔架装部品として装着したアルミホイールにおいて、ホイールセンター部の設計寸法が不適切なため、使用を続けるとホイールナットが緩むことがある。そのため、異音が発生し、最悪の場合、車輪が脱落するおそれがある。〕

改善の内容

全車両、ホイールを対策品に交換する。

但し、部品の入手に時間がかかることから、暫定措置として一度ホイールナットの再締付を行う。